事業推進体制概要

文部科学省 学びのイノベーション事業

学校種，発達段階，教科等に応じた効果・影響の検証，モデルコンテンツの開発，デジタル教科書・教材，情報端末を利用した指導方法等に関する総合的な実証研究

連携

総務省 フューチャースクール推進事業

一人1台の端末PC等構築したICT環境において，学校現場における利活用を推進していく上での主として情報通信技術面を中心とした課題を抽出・分析するための実証研究

委託契約

報告

全国等

- 東洋大学
- 全国特別支援学校病弱教育校長会
- 全国病弱虚弱教育研究連盟

委員参画

報告

京都市教育委員会

設置

報告

要請

地域協議会

委員参画

- 指導部長
- 総合育成支援課
- 総合教育センター

学校事務支援室

事務局，連絡窓口，プロジェクトリーダーの指揮の下，事業の予算・進行管理を行う。

プロジェクトリーダー　座長　副座長　委員

次の事項について検討，指導・助言及び評価を行う。

①事業の運営・運用の在り方

②ICT関連機器及びシステムの利活用に関する実証研究

③教科等の指導，研修及び評価等教育活動に関する実証研究

④その他座長が必要と認める事項

京都市内

- 大学（京大，京教大，ﾉｰﾄﾙﾀﾞﾑ女子大）
- 京都市立小学校
- 京都市立中学校
- 京都市立総合支援学校

研究成果等の発信（公開授業・ＨＰ等）

報告

指導主事委員参画

機器整備・支援員配置

校内推進委員会（プロジェクト）

学校と教育委員会が連携し，事業を円滑・迅速に推進していくことを目的に，校内組織に指導主事等が参画するプロジェクトを発足。プロジェクトにおいて実施計画の企画等を行い，地域協議会での検討，指導・助言，評価等を踏まえ具体の取組を進める。

計画案，課題等報告

指導・助言評価等

委員参画

- 教職員
- ＰＴＡ（保護者）
- 学校運営協議会

TV会議等での交流

京都市立桃陽総合支援学校

【実証研究概要】

(1)ICT環境整備に伴う機器導入・利活用に際しての課題等についての実証研究

①児童生徒及び教員一人１台の端末PC

②本校と４分教室における無線LAN，電子黒板，ＴＶ会議システム等

③災害時におけるICT機器の利活用法

(2)ICT機器を活用したデジタル教材・指導方法の開発等についての実証研究

①分教室の児童生徒が臨場感と存在感を持って，病院から本校での授業に参画することによる，本校の児童生徒との協働的な学び（協働学習）の展開

※協働学習用ソフトの改良

②本校と分教室の児童生徒が，TV会議システムを活用し合奏を行う「リモート・コンサート・ホール」システム開発の継続

③児童生徒の障害の状態や特性を踏まえた入力支援・端末PC固定機器等の開発

④ベッドサイド授業，自学自習の習慣形成や，分教室在籍児童生徒の孤立感等

端末PC，無線LAN，TV会議等　ICT環境整備

ネットワーク

- 本校
- 桃陽病院病室
- 分教室（第二赤十字）
- 分教室（京大病院）　病室
- 分教室（国立病院）
- 分教室（府立医大）　病室

研修会

活用支援

授業支援

アンケート

ICT支援員

活用支援　アンケート

児童生徒